

三股の整形外科リハビリ施設完成

草木観賞、散策楽しんで

江夏整形外科クリニック（三股町宮村）のデインガーデンが完成した。サービスセンターPro 運営母体の睦由会（江夏



剛理事長）と連携協定を

結ぶ南九州大の環境園芸

学部生が高齢者や理学療

法士、施工業者らと協議

を重ね設計。通所者に庭

の草木を観賞しながら散

策してもらい、リハビリ

効果を高める。

庭は553平方メートルで約

100種類の樹木や草花

を植えた。温かみを感じ

られるベージュ色の遊歩

道はカラーコンクリート

製。滑りにくく、車いす

でも移動しやすいよう工

夫した。

遊歩道は蛇行させて距

離を延ばし、植栽部分に

リハビリテーションガーデン

をデザインした南九州大環境

園芸学部の子生ら

南九大生設計 100種植栽

は寄りかかって観賞できるバーを設置。ベンチや手すりは少なくし、自発的に歩く仕掛けにしている。床面が高い木製花壇もあり、車いす利用者も土に親しめる。

同大学4年の代仁成

(22)、森岡欣信(21)さん

が卒業論文として主体的

に取り組む、学生20人余

りが協力した。作成の過

程をまとめた研究は日本

造園学会九州支部福岡大

会で発表、「Most

Impressive

頭発表賞」を受けた。

19日に披露。2人は、イ

メージが形になり、利用

者から好意的な意見を聞

け、やりがいを実感した。

貴重な機会を与えてもら

い感謝している」と話し

ている。今後はこの庭を

同大学の植栽実習や、ポ

ランティアグループみど

りの会の活動の場として

維持管理する。(湯田光)